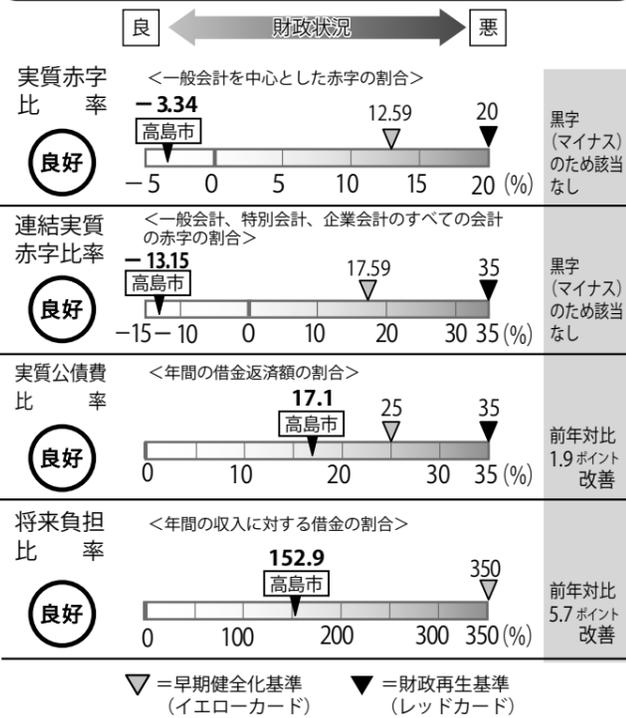


決算から見る市の財政状況

健全化判断比率



財政状況が良好かどうかを示すものの一つに財政健全化判断比率があります。これは4つの指標で財政の状態を判断するもので、国が定める基準を超える場合は、法律の定める内容に沿った財政健全化計画を策定し、財政再建に取り組むこととされています。高島市の平成22年度決算では、企業会計も含めて基準

を超える指標はありません。また昨年と比べ、実質公債費比率が、1.9ポイント改善し、地方債の発行に許可が必要とされる18%を下回るとともに、将来負担比率も5.7ポイント改善しており、新たな借金の抑制や高利率な借入金の繰上返済による着実な財務改善が進んでいます。

財政健全化判断指標はすべて「基準内」

平成22年度の主な事業

《子育て・高齢者支援》

◎私立保育園施設整備事業補助
3億6,429万円

老朽化が進んでいた愛隣保育園の移転新築に伴い、施設整備に対し補助を行い、保育園における園児の安全を確保するとともに、地域の子育ての拠点施設として保育サービスの充実を図りました。



◎地域介護・福祉空間整備事業
2億6,340万円

介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域でできる限り生活が続けられるよう、施設整備ならびに施設開設準備経費に対して補助を行いました。

- 小規模特別養護老人ホーム さわの風
- 認知症高齢者グループホーム Beスマイル新旭

《実効ある教育の推進》

◎小中一貫教育推進事業
547万円

市内全域で小中一貫教育を推進するため、市内全中学校区で小中一貫教育コーディネーターを中心とした研究推進体制を整え、小中学校の交流授業や教職員の研修等を通して、授業改善・教員の資質向上を図りました。

● 主な防衛施設周辺整備事業

高島市には、自衛隊の饗庭野演習場が所在しています。その周辺地域の生活環境の整備を行うため、防衛省からの補助金・交付金を受けて次の事業を実施しました。

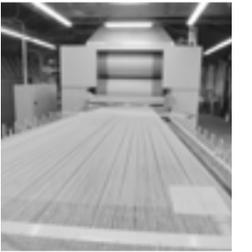
○市道・水路の改良	3億1,286万円	(2億6,222万円)
○防災行政無線の整備	8,601万円	(6,450万円)
○公立高島総合病院医療機器の整備	2,349万円	(2,000万円)
○消防ポンプ自動車の更新	1,522万円	(795万円)
○農業用施設の整備	1,029万円	(685万円)
○小中学校パソコンの購入	716万円	(490万円)

() 内は補助金・交付金額

《地域の経済対策》

◎地域産業等活力強化基盤整備事業
8,000万円

市の代表的な地場産業である織物業の活力強化を目的に、新商品や新技術の開発のネックになっていた高島織物工業組合の老朽化したサイジング設備を、高機能機械に更新するための費用の一部を補助しました。



◎竹林再生活用推進事業
499万円

地元材を100%使用した付加価値の高い扇子づくりへの挑戦を促進するため、安曇川町西万木地区の竹林(3,000㎡)の間伐を行う基盤整備事業に補助し、竹林再生活用の推進を支援しました。

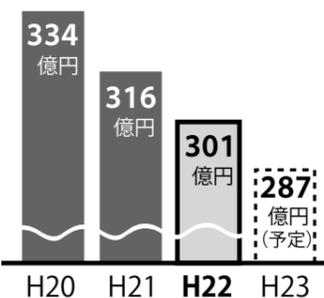
《医療の充実》

◎高島総合病院整備(新築)事業
12億7,250万円

平成24年春の開院を目指し、新病院の本棟建築工事に着手するとともに、医療機器の購入や昨年度の繰越事業である造成・水路付替工事を実施しました。

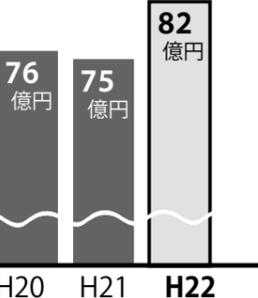


市債残高(一般会計)の推移



借金は順調に減少しています！
10年間で100億円減らすことを目指している市債の残高(一般会計)は、今年度、繰上返済や借入抑制により約15億円減少しました。平成23年度にはさらに14億円減少させる計画です。

基金残高(一般会計)の推移



貯金を増やすことができました！
地方交付税や臨時財政対策債の伸びにより生まれた財源を、財政調整基金や減債基金に積み立てました。

平成22年度末時点
・市債残高 市民一人あたり 56.1万円
・基金残高 市民一人あたり 15.3万円



福祉や医療へのお金が増えています

景気の低迷や少子高齢化などにより福祉や医療などに必要なお金が毎年増えています。高島市として重点的に配分している施策でもあり、これらは、市民の命や暮らしを守るために必要なお金で減らすことはできません。

